

第7回 令和7年4月22日（火）

「みなさんは富士フィルムという会社を知っていますか？」

何年か前に、富士フィルムという会社（東京ミッドタウンや、南足柄に工場があります）を見学に行きました。

理系の研究員さんが出るCMが放送されていますし、「アスタリフト」っていう化粧品でも有名ですよね。

「でもなんでフィルム？」

若い皆さんはフィルムを見たことがない人も多いでしょう。カメラにフィルムをセットしないと写真が撮れない時代があって、富士フィルムは日本のトップシェアを誇っていたフィルムメーカーでした。

使い捨てカメラの「写ルンです」を販売したのも富士フィルム。当時は爆発的にヒットしました。（いまのチェキみたいなものかな。もうそれも古いのかな…）

この会社が医薬の分野に舵を切ったのが、なんと「写ルンです」が爆発的にヒットしていたころです。

フィルムが売れている時代に、すでにフィルムに見切りをつけて、その技術を応用したナノ化粧品の開発に乗り出していました。

その先見の明は本当にすごいと思います。はるか昔から探究的な考え方を大事にしている会社です。ミッドタウンにある研究所はぜひ一度見てもらえばと思います。（感動します！）

研究員たちが研究を楽しみながら様々な分野でトップランナーとなっていきます。好奇心や探究心が会社を動かしており、とてもエネルギーにあふれている会社だと感じました。

私は「FUJIFILM」のCMが大好きです。いつも次はどんな開発をしてくれるのかと楽しみにしています。

これからも変化の激しい時代が続きます。

先を見通す力や情報を集めて分析する力、課題を解決する力が求められています。

そもそもっと大切な要素が好奇心であることは確かだと思います。